

木更津市市民活動支援センター運営協議会第2回協議会 議事録

○開催日時：平成30年3月8日（木）午後3時から午後5時まで

○開催場所：木更津市市民活動支援センター

○出席者氏名

協議会委員：白石哲也、湯谷賢太郎、平野秀樹、川口正彦、鶴岡英樹
丸尾進三郎、長谷川圭亮、佐藤恵美子、加納基成

指定管理者：川出信治、原田享、江澤茂典

木更津市：高浦浩、大岩房之、北見寛之

【市民活動支援課：大岩副主幹】

それでは、定刻となりましたので、木更津市市民活動支援センター運営協議会第2回協議会を開催させていただきます。はじめに高浦市民部長より挨拶をさせていただきます。高浦市民部長よろしくお願いいたします。

— 高浦市民部長挨拶 —

【市民活動支援課：大岩副主幹】

ありがとうございました。つづきまして、市民活動支援センター運営協議会の会長でございます、白石会長よりご挨拶をお願いいたします。

— 白石会長挨拶 —

【市民活動支援課：大岩副主幹】

ありがとうございました。以後の進行は木更津市市民活動支援センター管理運営規則第17条に基づき、白石会長に議長をお願いいたします。

【白石会長】

では、議事に移らせて頂きます。議事に移る前に、本日の議題であります、議題1から3の全ての報告等が終了次第、質疑応答及び意見交換に移らせていただきます。

それでは、議題1「第1回協議会での課題について」ですが、事務局であります、市民活動支援課からお願いいたします。

【市民活動支援課：大岩副主幹】

— 資料1「第1回協議会での課題について」のとおり報告

【白石会長】

ありがとうございました。つづいて、議題2「指定管理初年度の成果及び来年度の目標」について、指定管理者であります、三幸株式会社より説明をお願いいたします。

【三幸株式会社：川出・原田】

— 資料2「第2回運営協議会報告資料」のとおり説明

【白石会長】

ありがとうございました。つづいて、議題3「市民活動団体アンケート項目について」ですが、事務局であります、市民活動支援課より説明をお願いいたします。

【市民活動支援課：大岩副主幹】

— 資料3「市民活動団体アンケート — のとおり説明

【白石会長】

ありがとうございました。議事1から3について終了いたしましたので、質疑応答に移らせていただきます。

まず、議事1の第1回協議会での課題についてですが、印刷機の利用料金についてご質問ありますでしょうか。加納委員は他市の施設にも精通しているようですが、その点どうでしょうか。

【加納委員】

確かに公民館と比べれば安価となっているが、市民活動支援センターに必要な機能は、安価で印刷でき、かつ部数を多く印刷する場合である。また、他市と比べると、多く印刷すればするほど木更津市の印刷コストは高くなってしまう。

数枚程度を印刷するにはコピー機を使えばいいわけで、市民活動を実施している者にとっては、大量の枚数を素早く安く印刷できる環境を求めている。

また、他市では印刷室の予約ができ、行っただけ印刷できないといったことが起きない。人が多く訪れる市民活動支援センターほど、予約が可能となっている。

【市民活動支援課：大岩副主幹】

市民活動支援課といたしましても、先進地の事例と市の予算を加味しながら検討させていただきたいと思います。

また、印刷機の契約期間と指定管理期間の兼ね合いもありますので、その点も

含めて課題として捉えさせていただきます。

【白石会長】

Q3について、ホームページが改善されてきているようですが、川口委員は質問等ありますでしょうか。

【川口委員】

ホームページについては会議室のスケジュール欄に団体名が掲載され、以前よりは見やすくなった。ただ、どこの団体が使っているかはわかるようになったが、使用内容がわからない。現在はこのままでも支障がないかもしれないが、利用が増えるにつれて、会議室の稼働率があがってきた場合には、1つの団体で1日会議室を貸しきって使用してしまうと使用できなくなる団体も出てきてしまう。そのためにも、どのような内容で使っているかわかると、使用できない団体も納得がいくのではないかな。

【湯谷副会長】

そのへんのルール決めはされているのか。また、今後の課題として検討していく必要があると思うのだが。

【指定管理者：原田】

たしかに、会議室の稼働率や利用者も増加しているため、そのような課題が出てくる可能性は高い。現状では2つの会議室で足りているが、今後は会議室使用のルールについても決めていかなければいけないかもしれない。

【加納委員】

市民活動は活発になったほうがいいわけで、利用制限をかけて会議室を使えなくしてしまうのは市民活動の原則からも外れてしまうため、制限はかけないほうがいいと思う。

他市の事例でいえば、無料のスペースに時間制限をかけたり、会議室の予約を抽選申込にしている。

【市民活動支援課：大岩副主幹】

条例上では、本市の公民館にあわせて、午前・午後・夜間の予約制となっているため、時間単位での使用を許可していない。ただし、今後、そのような課題に対応していくためには、時間制での予約も検討しなければならないと思う。

【長谷川委員】

会議室の予約に付随してなのだが、フリースペースの利用については周知が必要と感じている。フリースペースは予約がいらず、誰でも使えるというのは知らない人が多いように感じている。

【湯谷副会長】

誰でも使えるというのは非常に大きな利点なのだが、団体がイベントで使用していると、誰でも使えるというわけでもなくなってしまう。大きな施設で会議室が多数にあれば問題はないが、木更津市の市民活動支援センターの規模であれば課題であると思う。例えば、誰でも使える日、イベントで使用していてフリースペースが使えない日等がわかるとよい。ホームページでの掲載にも絡んでくるのかもしれない。

少し話が変わってしまうのだが、来館される方々はどこで市民活動支援センターの情報を手に入れているのか。

【指定管理者：原田】

やはり、口コミでの来館が非常に多い。広報きさらづ、ホームページ、フェイスブック、みらいラボ通信等で周知は行っているが、利用者への周知方法は検討していかなければいけない。

【長谷川委員】

若者は広報やホームページをあまり見ていない。やはりフェイスブック等のSNSを活用して周知していくのが良いと思う。

【白石会長】

今回の協議会で、どのような広報媒体を活用して周知しているのか、また、それによってどれくらいの方が見ているのか、紙媒体であれば何部印刷してどこに置いているか等を資料としていただけると検討の幅が広がって、何が 필요한のか見えてくるかもしれない。事務局で用意していただけるとありがたい。

【市民活動支援課：大岩副主幹】

資料3のアンケート調査は案を事務局で作成させてもらったが、その中に、「情報の入手方法」のような記載欄を設けさせていただく。

【白石会長】

つづいて、公民館との連携について質問事項はありますでしょうか。

【湯谷副会長】

指定管理者は社会福祉協議会や公民館と連携して何かやっていることはあるのか。

【指定管理者 原田】

社会福祉協議会を紹介したりはしているが、協議の場を設けて話し合ったりだとかは行っていない。公民館にはみらいラボ通信を設置させてもらっている。

【市民活動支援課：大岩副主幹】

社会福祉協議会や公民館と連携をとっていくうえで、市としても、その橋渡し役として協議の場を設けて、関係機関との連携の強化を行っていきたいと考えている。

【白石会長】

Q 6 の開館時間の延長についてはどうか。

【長谷川委員】

現在は月曜日が休館日となっているが、それが適切かどうかについてもアンケートに盛り込んでいただきたい。

【市民活動支援課：大岩副主幹】

休館日についてもアンケート項目に盛り込ませていただく。

【白石会長】

Q 1 0 の施設面についてはどうか。

【佐藤委員】

2 階のトイレは男女兼用というかたちになっているが、男女兼用だと女性は、まず使わない。子育て世代が多くこられることから、女性の利便性についても検討してもらえるとありがたい。

【市民活動支援課：大岩副主幹】

施設面については、貸主である両総通運(株)と協議させていただく。

【川口委員】

市民活動支援センターは利用者も増加してきているということで、非常によ

いことだと思う。そこで気になるのが、避難経路だが、防災時の避難経路は確保されているのか。

【指定管理者：原田】

避難経路については、掲示がないため設置させていただく。

【加納委員】

昨年から、市民活動支援センターを活用して、子ども食堂を開催している。市民活動支援センターは火気の使用禁止となっており、別の場所で調理した料理を市民活動支援センターに持ってきて配膳している。冷めたものを温めなおしたり、簡単な調理を市民活動支援センターで実施できるよう検討していただけるとありがたいのだが。

【平野委員】

子ども食堂は現在3箇所で開催しているが、市民活動支援センターは交通の便がよく、市内各地から子ども達が集まってくれている。他の開催場所では、主にその地域に住んでいる子ども達がきてくれているが、木更津市全てを網羅できるわけではない。市内各地に子ども食堂があればいいのだが、現状はそうはいかないため、みらいラボの利便性向上のためにも検討していただきたい。

【市民活動支援課：大岩副主幹】

市民活動支援センターは貸主との契約で火気を禁止している。また、光熱水費のなかで、火気の使用を想定していないため予算計上を行っていない。貸主とも協議を行なったところ、2階の給湯室であれば火気を使用しても構わないとのことであったため、例えば、ガスコンロを持ち込んだりして2階で調理していただくことは可能である。ただし、原則として火気の使用は禁止となっているため、火気使用時のルール作りを市及び貸主・指定管理者と協議したうえで決めていきたい。

【長谷川委員】

市民活動団体の登録数が増えているのは非常によいことなのだが、登録後も活動は継続しているのか。休眠ではないが、活動を休止しているような団体が継続して活動を続けていくようなアプローチも必要なのではないか。

【指定管理者：原田】

昨年度の夏ごろに全ての登録団体に対して、活動状況の確認を行った。そのな

かで市民活動支援センターを利用していなくても活動はしている団体があることもわかってきたところであり、今後は長谷川委員が仰るとおり、団体が継続して活動続けるアプローチをしていかなければいけないと思っている。例えば、年に1回、活動報告書のようなものがもらえるといいと思っている。

【湯谷副会長】

来年度の目標は、「市民活動団体同士をつなげる」となっているが、具体的にはどのようなことを考えているのか。

【指定管理者：原田】

自主事業のなかで市民ボランティア教室として検討している。これは、市民活動団体が講師となって講座や講演、団体間交流を図る事業を実施する予定である。そのなかで、多種多様な団体に参加してもらい、市民活動団体同士がもっているスキルやつながりを拡散していければと思っている。

【長谷川委員】

アンケートについては、選択式にしたほうがアンケートを回答する側にとっては、回答を得られやすいのではないか。

【市民活動支援課：大岩副主幹】

アンケート項目は選択式も検討させていただく。

【湯谷副会長】

質問の回答を分岐式にして、「はい」となった場合のみ回答してもらうだとかも検討していただきたい。

【白石会長】

アンケート項目については、今回は案という形なので、追加してもらいたいものや変更してもらいたいものがあれば、3月中に事務局までご連絡をいただきたい。他に質疑等がなければ議事を終了させていただき、事務局へ進行をおかえしいたします。

【市民活動支援課：大岩副主幹】

円滑な進行ありがとうございました。それでは、市民活動支援センター第2回運営協議会を終了させていただきます。